



■ 石畳

サイズ：W74 D74 H11

材 質：鉄

重 さ：400g

¥6,600 (税込)



鋳物の町・高岡から誕生した、鉄器ブランド OMOSI（オモシ）

高岡銅器協同組合の有志 8 社が、産地のルーツである鉄鋳物とあらためて向き合い、現代の暮らしの中で鉄鋳物と触れ合うシーンを提案するために生まれたブランドです。

鉄を象徴する形容詞「重し」と高岡の方言「おもしい（＝面白い）」を重ね、OMOSI（オモシ）。その名の通り、暮らしを鉄鋳物で楽しく演出します。触って、使って面白い鉄を是非感じてください。

風合いと手触りは大らかで優しく、そこには高岡銅器で培われたセンスと技巧が集約されています。

高岡鉄器

富山県高岡市の伝統工芸は「銅器」が広く知られていますが、江戸時代から 400 年続く高岡銅器の歴史は「鉄器」から始まりました。鍋や釜、鉄瓶、鋤（くわ）などの生活道具から大きな塩釜まで、明治以降はにしん釜が数多く生産されました。しかしその後、仏具や美術工芸品の需要の高まりから銅の鋳物が主流となって今に至ります。そして鉄鋳物の工場は減少し、中でも伝統的な古式炉で鋳造する工場は一軒のみとなりました。

OMOSI は、この高岡銅器の起源と歴史に敬意と再興の願いを込め、「高岡鉄器」として発信していきます。

株式会社竹中銅器
since 1927

〒933-0954 高岡市美幸町 2-1-16
TEL.0766-22-0707
www.takenakadouki.co.jp



高岡鉄器の文鎮

石 畳

omos i
CAST IRON TAKAOKA

小さな石畳が醸す憧憬。

石畳 — 美しい風景、思い出の場所、歴史や物語の舞台・・・。
そんなイメージがふくらむモチーフを小さく写し取り、鉄鑄物にしました。
その重さと風合い。叙情的な佇まいの文鎮です。

揮毫された文字、開かれたページ、宛てられた言葉、飾られた小物・・・。
そこに小さな石畳が置かれると、呼応して物語が生まれ、
見慣れた日常にひとつの借景が現れます。

